



竹島直樹
(柊の会)

大深内小中学校スクールバス 熊対策で自宅前までの送迎を 各家庭で送迎いただくよう 協力を仰ぐ

問 大深内小中学校のスクールバスについて、熊対策として自宅前までの送迎は出来ないか。

答 送迎には中型バスを使用していますが、道路が狭く、自宅前まで送迎するのは難しい状況となっており、各家庭において停留所または学校まで送迎をしていただくようご協力を仰ぐことになります。

問 医療・福祉分野は、令和6年度の報酬改定以降、報酬が上がっておらず、物価の上昇に追いついていないことから、物価高騰対策として、医療・福祉事業者への支援を実施する考えは。

答 支援の必要性は認識していますが、医療、福祉事業者に対しては、国の補正予算における支援パッケージとして、物価上昇や賃上げ等に対する支援が予定されています。また、県においても医療、福祉事業者を対象に、物価高騰対策支援金の支給が予定されていることから、市としては、原則的にそのような支援が行き届かない事業者への支援を考えています。

問 風力発電事業に伴う森林伐採により、熊の生息地が破壊・分断され、市街地での出没増加につながるのではと懸念されているが、生息地への影響についてどのように考えているか。

答 報道等では、令和7年は熊の生息地における食糧の不作等の理由から、行動範囲が拡大し、人の生活圏での出没頻度が増えているものと想定されています。風力発電と熊出没のはっきりとした因果関係を申し述べることはできませんが、風力発電事業に係る環境影響評価法等に基づく調査、予測評価等を行う事業者に対し、熊を含めた動植物に与える影響について配慮するよう意見を伝えます。



小笠原良子
(日本共産党)

小中学校の女子トイレに 生理用品の設置を

学校現場と社会状況を注視

問 小中学校の女子トイレの個室にいつでも使えるように生理用品を設置する考えは。

答 現在、小中学校では、困ったときに気兼ねなく相談できる場として、保健室での生理用品の配布等を行っています。トイレへの設置については、生理の貧困の解消にとどまらず、ジェンダー平等の推進などの意義も含め、公共施設等での設置が広がりつつあることを認識しています。児童生徒の心理的安心にもつながることから、今後は学校現場と社会状況を注視していきます。

問 加齢性難聴者への補聴器購入の助成について、助成開始時期の見込みは。

答 令和8年度から補聴器購入に要する経費の一部を補助する加齢性難聴者補聴器購入費助成事業を実施したいと考えており、現在は実施に向けた制度設計を進めているところです。実施に当たっては、市内の補聴器相談医等と連携し、補聴器が有効活用されるよう購入後の適切なフォローアップ体制を構築していきたいと考えています。

問 風力や太陽光発電といった再生可能エネルギーの大型開発から、八甲田山系の自然景観を守ることについて、市の考えは。

答 八甲田山をはじめとする豊かな自然環境や景観は、未来世代に引き継いでいかなければならぬ重要な財産であるという市の考えはこれまでと変わっていません。自然地域との共生が図られるよう、新たに施行された「青森県自然・地域と再生可能エネルギーとの共生条例」の合意形成プロセスにおいて、市民の声も伺いながら意見を申し述べていきたいと考えています。